努力が才能に勝つ時：塵も積もれば山となる

残念ながら、実際問題、生まれた時点で頭の良さと言う物は決まっていたりするわけですが、努力で挽回が出来るのです。

ただ、世界最高峰の物理学者や数学者、テスラモーターズのイーロン・マスクやAmazonのジェフ・ベゾスを超えたいと言うのであれば、努力では限界があるかもしれません。

ただ、彼らまでとは行かずとも、努力でそれ相応に頭が良くなる事が出来るわけです。

スタート地点が生まれ持って頭脳明晰な人と比べて後ろな分、根気強く、長期に渡って努力する必要があるわけですが、大事なのは努力の距離です。

気分が向いたからと言って集中して勉強したり運動をしたりする人が居るでしょう。しかし、一年と言う枠から見たら数回のダッシュなど、大した距離にならないわけです。

がしかし、一年を通して、ゆっくりでも週に数回ジョギングをした人間は、短期的に見れば距離はさほど長くなくとも、一年と言う枠で見ればそこそこの距離に到達するわけです。

そして、これが５年、１０年と続いた場合は千里の差になるでしょう。

だからこそ、努力をする習慣が大事で、複利の如く、毎日、小さく積み上げれば、長期的にはエベレストの如く大きな山となるわけです。

毎日、５００文字書けば、一年で本が数冊出版出来るでしょうし、毎日、２０ページ読めば一年で本を１０冊読破出来ると言うわけです。

根気強く、長い目で、日々前進する事でカメがウサギに勝てると言うわけです。